2024春闘スタート

みんなの怒り！大幅賃上げで 笑顔の春闘へ

国民春闘勝利をめざす「怒りの労働者総行動」（1月31日）

2024国民春闘では、物価高騰を上回る大幅賃上げを民間と公務の団結で勝ち取ることが重要です。そして、自治体職場の「公共」を住民の手に取り戻す運動を広げましょう。憲法と地方自治にもとづく「住民福祉の増進」をめざし、住民サービスを向上させることが自治体本来の役割です。いまやるべきことは、大阪万博の開催ではなく、甚大な被害を受けた能登半島の復興支援に全力をあげることです。災害に強い自治体をつくることが「公共」の役割ではないでしょうか。

「今こそ大幅賃上げ」「万博より復興支援を」切実な春闘要求をかかげて街頭宣伝

大阪万博をやめて住民本位の復興支援の強化を

4・5面に関連記事

おおさか自治体の仲間
発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2024年２月15日　No.400
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館４階　☎06-6354-7201　FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／坂田　俊之　編集人／尾﨑　一美
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

泉大津市職員労働組合
執行部

私たちの原点は1994年 組合を結成した思い

自治労の組合員不在の運営にガマンできず、自治体労働者として誇りをもって前進するために、1994年11月15日に結成された泉大津市職労。その時の思いを今も大切にして活動する執行部の皆さんを取材しました。

前列：右から井上副委員長、川﨑執行委員
後列：右から村田委員長、谷口書記長、藤本書記次長、中磯副委員長

みんなの要求をかかげ粘り強く当局交渉で前進へ

要求実現へ力あわせて

保育士中心の執行部体制です。闘争期には市役所前で「市職労ニュース」を配布して宣伝をしています。ほとんどの職員が愛想よく受け取ってくれています。また、市職員全体の切実な要求実現に向けて、当局交渉などに取り組んでいます。

何よりみんなの意見を組合活動に反映させています。村田委員長は結成時からがんばっていて、いろんな経験も豊富なので助かっています。

結成時の組合ニュース第１号（上）と、そのニュースを手に決意を語る谷口書記長

要求実現や仲間づくりの基本は「気軽に参加を」

学習会や旗開きなどの組合行事には、未加入者にも気軽に呼びかけ、気軽に参加できるように組合加入とセットで対話をすすめています。組合掲示板の前にも「自由にどうぞ」とニュースを置いています。本庁職員から「いつも読んでるよ」と声をかけられることも。市職労運動を継続することで、当局との信頼関係も築いていると実感しています。「もっと職場を改善したい」との思いは、労使とも同じです。だからこそ協議を重ねて、交渉で要求が実現できるように取り組んでいます。

「よりよい保育」へ共同広げて

「泉大津市の子どもたちを公立と民間で育てよう」と、市職労主催の保育学習会や研修を企画しました。市の協力を得て民間の保育園にも参加を呼びかけ、若い保育士さん10人が参加しました。共同の取り組みが少しずつ広がっています。

継続を力に魅力ある活動を

執行部メンバーから「どの園も人員配置を公平に」「自己負担だった研修や学習会が組合で開催できてうれしい」「会議だけでなく学習を大切にする組合に魅力を感じる」「もっと組合員を増やしたい」と前向きな意見が。谷口書記長に「めちゃくちゃがんばっている。でも無理せんといてね」と優しいエールも。

魅力ある組合運動をめざし、支えあって継続を力にがんばる泉大津市職労の仲間。組合結成の翌日付の泉大津市職労ニュース第１号を手に、谷口書記長は「これが私たち市職労の原点、何ら変わるものではありません」と力強く語ってくれました。